

「日本語方言副助詞の研究」調査票

副助詞は、情的なものを含んでいるため、位相論的に複雑であるが、日本語方言の副助詞を体系的に捉えるため、以下のように構成した。

◎意味用法ごとに副助詞を分属させた。

◎質問文の順序は、ゆるやかに意味機能を考えて、(1)～(5)のように分けた。

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

(3) 限定・限界などをあらわすもの

(4) 陳述的なもの

(5) モダリティー的なもの

としたが、厳密なものとはしがたい。

◎「さえも」「すらも」「までも」「ばかりか」「までもが」などのような副助詞の累加表現は質問文としては設定していない。各自の調査で加えていただきたい。

◎文章語的なものから口頭語的なものまであげているが、あくまで当該方言の副助詞の体系を取り上げるものとする。

◎質問文の副助詞部分だけでなく、文例をまるごと当該方言の言い方にする。

◎その他、当該方言の副助詞について注目すべき点をできるだけ掘り起こしていただきたい。

〈質問文〉

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

A. 添加 〈さえ・も〉

1. 雨だけでなく風さえ吹いてきた。
2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。

B. 予想外の事実 〈さえ・だけ〉

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。
4. (宝くじが) 当たると思っていなかっただけに嬉しい。

C. 条件 〈さえ〉

5. 暇さえあれば釣りに行っている。

D. 例示 〈でも・ほど・まで・など・やら・なり・なんて〉

6. まあお茶でも飲んでください。
7. みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。
8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。
9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。
10. なぐるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。
11. 私になり相談してくれれば良かったのに。
12. 野菜なんていくらでもできる。

一対の語の例示 〈だって〉

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。

択一 〈なり〉

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。

例外でない〈とて〉

15. 村長とて、そうするより仕方なかったんだらう。

列挙〈も〉

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。

同類の暗示〈も〉

17. テレビもそろそろ買い替えよう。

やわらげ〈でも〉

18. まあお茶でも飲んでください。

E. 包括〈など〉

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。

F. 提題〈だって〉

20. ゲートボールだってできるよ。

話題にあげる〈って〉

21. 何だい、いいことって。

極端なものの提示〈でも・くらい・すら・も〉

22. そんなこと子供にでもできるよ。

23. 食べることくらいは何とかしたい。

24. 名前すらろくに覚えていない。

25. 弁当代に千円もかかった。

軽いものをあげる〈さえ〉

26. これさえあればもう大丈夫だ。

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

G. 分量・程度〈ほど・くらい・ばかり〉

27. 旅行で三日ほど家をあけた。

28. 茶碗に半分くらいください。

29. 子供にでもわかるくらいのやさしい本だ。

30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。

H. 基準〈ほど〉

31. 今年の寒さは去年ほどではない。

I. 理由〈ばかり〉

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。

J. 「それにふさわしく」〈だけ〉

33. 苦勞しただけあって人間ができている。

形式名詞的用法〈なんか〉

34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。

「それこそ」〈こそ〉

35. それこそバケツをひっくりかえたような大雨だ。

「～ばかりか」〈ばかり〉

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。

K. 今にも行われる 〈ばかり〉

37. もう食べるばかりにしてある。

動作の完了直後 〈ばかり〉

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。

基準 〈まで〉

39. 駅までもうちょっとだ。

L. 等量の反復〈ずつ〉

40. 一人ずつ呼んで話をした。

M. 等量の配分 〈ずつ〉

41. 一人に二個ずつみかんをやる。

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N. 限定〈しか・だけ・ばかり・きり〉

42. 酒はたまにしか飲まない。

43. 今朝は寝坊をしてパンだけ食べて来た。

44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。

45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。〈田植えのこと〉

O. 強調 〈しか・こそ〉

46. もうこれだけしかないよ。

47. 今年こそいい年にしたい。

P. 限界 〈だけ・まで〉

48. これだけ言っても分からないのか！

49. 2千円くらいまでなら何とかなる。

(4) 陳述的なもの

Q. 「～ば～だけ」〈だけ〉

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。

「假定形・ば・こそ」〈こそ〉

51. 心配すればこそ言うんだ。

「こそ・假定形」〈こそ〉

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。

53. 「～でこそあれ〈コサレなども〉」という言い方はありますか。

「未然形・ば・こそ」〈こそ〉

54. 押しても引いても動かばこそ。

「～こそ。」〈こそ〉

55. 失礼なことを言わないでこそ。

「～こそ～が」《こそ》

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。

「～ば～ほど」《ほど》

57. 働けば働くほどもうかる。

R. 打ち消しとの呼応 《まで》

58. 村長に聞くまでもないことだ。

否定との呼応(それさえもない)《も》

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。

否定的取り上げ《など》

60. こんなものなどいくらでもあるよ。

全面否定 《だって》

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。

S. 次の動作が不可能 《きり》

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。

(5) モダリティー的なもの

T. 不確かな気持ち 《やら・か》

63. いつのまにやら眠ってしまった。

64. 何のことか分からない。

推定 《か》

65. 後で遊びに行くかもしれない。

どちらか分からない 《やら》

66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。

はっきり言わない 《やら》

67. どこやらへ引っ越したそうだ。

U. 非難 《たら・てば》

68. お父さんたら今日も遅いのね。

69. お父さんてば、子供のようなことを言って。